院内感染防止対策に関する取り組みについて

感染防止対策は、安心して安全な医療を提供するために必要不可欠なものであり、組織として積極的に取り組むことが大切であると考えています。

当院では、院内に感染対策部門を設置し、感染防止対策委員会と感染対策チームが協力して院内感染予防や感染拡大防止の推進に積極的に取り組んでいます。取り組み内容は、以下の通りです。

1 院内における感染状況の把握

毎月会議を行い、感染者の状況や対策について検討しています。また、院内の耐性菌に関する感染情報については、JANISに参加して毎月報告を行っています。

2 必要な感染対策についての管理・指導

感染対策チームが定期的に院内をラウンドし、現場の状況を把握、必要に応じて具体的な指導を行っています。

3 感染予防対策に係る職員教育

年に2回程度、感染対策チームが主導して、全職員対象に院内研修会を実施しています。

また、院外で開催される研修会にも積極的に参加しています。

4 抗菌薬の適正使用

抗菌薬使用に関しては、薬剤感受性試験に基づいて抗菌薬を選択し、多剤併用や長期間の使用を避けるなど、適正使用に努めています。

5 感染防止対策に係るマニュアル作成や改訂

院内感染防止対策推進のため、院内感染防止対策マニュアルを作成し、職員への周知徹底に努めています。また、年に1回程度見直しを行い、必要に応じて改訂を行っています。

6 地域の医療機関との連携

感染防止対策強化のため、県立丹波医療センターと定期的に会議を開催して情報交換を行い、感染防止対策に関する助言や指導を受けています。